

身近なギモンにお答えします

上下水道 Q&A

日常生活の中で何気なく使っている水道や下水道。普段あまり意識を向けていないかもしれませんが、ふと疑問に思うことはありませんか。今号では、市民の皆さまから寄せられた疑問にお答えします。

Q. 水道水から塩素臭がする。飲んでも大丈夫？

A. 問題ありません。

塩素は水道水を消毒するために入れるものです。病原菌等に対しては消毒効果がありますが、人体に対して影響はありません。

水道水は、蛇口での残留塩素濃度を0.1mg/L*以上保持することが水道法で定められていますが、上下水道局では水道水をおいしく感じていただけるよう、市内の残留塩素濃度の低減化に取り組んでいます。*水道水1リットル中に0.1mg含むという意味。

塩素臭は水道水に消毒効果が残っている証でもあります。塩素臭が気になるときは、水道水を一晩汲み置いたり湯冷ましにすると感じなくなります。ただし、消毒効果はなくなってしまうので、早めの使用をお願いします。

上下水道局では、安全でおいしい水道水を供給するため、水質検査計画に基づく水質検査を実施しています。検査結果は上下水道局のウェブサイトにて毎月掲載しています。



川崎市上下水道局 水質検査結果 Q

Q. ミネラルウォーターと水道水の違いは？

A. 使用している水や、安全性を確保するための水質基準など、違いはさまざまです。

ミネラルウォーターと水道水の違いとして、まず原水の違いが挙げられます。ミネラルウォーターはミネラル分が溶解した地下水を原水としていますが、川崎市の水道水は、神奈川県内の湖や河川といった表流水を原水としています。また、ミネラルウォーターと水道水では、成分の基準値を定める法律が異なります。清涼飲料水であるミネラルウォーターは食品衛生法の規格基準により、日常的な飲用を前提とした水道水は水道法の水質基準(51項目)により検査が義務づけられています。



川崎市上下水道局 水質基準 Q

Q. 川崎市内で一日に使われる水の量はどれくらいですか？

A. 一日平均42万立方メートル*です。

令和元年度に川崎市内で使われた水道の使用水量は、約1億5,400万立方メートルでした。一日当たりで計算すると、平均42万立方メートルになり、小学校のプールで表すと、約1,684杯分の量です。*1立方メートル=1,000リットル。



Q. 水道水の値段はどれくらいですか？

A. 1リットルあたり約0.1円*です。

身近なものに例えると、2リットルペットボトルが約0.2円、お風呂1杯(300リットル)が約30円です。

*基本料金の場合。



Q. 台所の排水口に油を流すとどうなるの？

A. 排水管が詰まる可能性があります。

油が下水道管の中で冷えて固まると、詰まりの原因になります。管が詰まると汚水が流れなくなりますので、油は不要な布や新聞紙に吸わせて、普通ごみとして捨てましょう。



Q. 下水道のマンホールは何のためにあるの？

A. マンホールは、下水道管の点検や掃除をするときに人や機械が入りするための施設です。

マンホールは、「マン(人)」と「ホール(穴)」を組み合わせてできた言葉で、「人が出入りする穴」という意味です。上下水道局では、皆さんが普段目にしていないマンホールの蓋を開けて、地下に埋まっている下水道管の点検や掃除を行っています。なお、マンホールは川崎市内に約12万7,000箇所あります。



マンホールカード配布中!

市内に1つしかない色鮮やかな本市ブランドメッセージ入りのマンホール蓋をマンホールカードにし、かわさききたテラスで配布しています。詳しくは上下水道局のウェブサイトをご覧ください。

川崎市上下水道局 マンホールカード Q

Q. なぜティッシュペーパーをトイレに流してはいけないの？

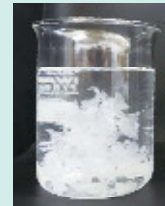
A. 排水管が詰まる可能性があるためです。

ティッシュペーパーや紙おむつなどは水に溶けません。トイレに流してしまうと、家中の排水管が詰まる可能性があります。トイレには流さずに、普通ごみとして処分してください。



ペーパー類を水に溶かす実験

トイレットペーパー



繊維がほどけ、バラバラになります。

ティッシュペーパー



繊維がほどけず、元の形状を保っています。